

神戸学院大学 第2次中期行動計画 中期計画(第3層) 2020年度達成度評価表 分野:学生支援

		評価	理由
中期目標	学生の成長を支える総合的な学生支援を実施します。		
中期計画	1 学生生活支援の充実	C	学生相互が支え合う体制(ピア・サポート制)について、学生の未来センター(全学教育推進機構室)の働きかけにより、KPC・KAC両キャンパスにおいて計6回、学生の「生活支援プロジェクト」を実行し、食品等の安価での提供や無償配布を行ったことは評価できる。学生の健康管理のための健康診断受診は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で目標値を大幅に下回る結果となった。やむを得ない点もあるが今後、医務室、学生相談室および学生支援事務室の連携体制を強固にし、更なる充実を期待する。
	2 修学支援の充実	C	図書館内の飲食可能な休息スペースの設置計画を一旦取り下げたことや、学生支援センターの学生チャレンジプロジェクトの実施を中止せざるを得なかったことは残念であった。今後は、コロナ禍でも実施できる形態の検討を期待する。また、長期化する新型コロナウイルス感染拡大への対応として、修学を支援するための奨学金制度等、支援策の更なる検討を期待する。
	3 安全で快適なキャンパス環境の充実	B	大規模災害に備え、継続して避難訓練等を実施していることは評価できる。また、第5・6グラウンドへの防犯カメラ設置等の整備や、一部トイレ洋式化への改修、手洗いセンサー・自動洗浄の改修など、学生アンケートなどから知り得た学生の要望をふまえた環境整備が計画どおり実施できていることは評価に値する。
	4 障がいのある学生への支援	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学生サポーターの研修機会等を設けることが困難であったものの、オンライン研修会への参加により、情報収集等に努めていることは評価できる。今後は、「障がい学生支援体制整備ワーキンググループ」からの学長への答申をふまえ、より一層、各学部・関係部署間の連携を強化し、大学全体で取り組んでいくことを期待する。
	5 課外活動の奨励と支援	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、総合リハビリテーション学部における社会活動への学生関与については、多くが活動自粛となった。部活動については、公式戦の中止、活動禁止等が影響し、広報活動の充実に関する実行計画に基づく情報更新が大幅に減少したが、技術指導者対象の研修を実施するなど、可能な範囲で活動を継続したことは評価できる。今後は、対象範囲を広げた研修を行うなど、更なる充実を期待する。
	6 キャリア支援の強化	C	法学部においては、オンラインにてOB・OGとの交流の機会を設けるなどの取り組みを行った。グローバル・コミュニケーション学部では、コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、学部独自のインターンシップを中止にするなどの対応を行ったが、今後はコロナ禍でのインターンシップ等の可能性を引き続き検討することを期待する。キャリアセンターを中心とした既卒者を含む進路未決定者に対する実効性のある全学的なキャリア支援に関する計画については、学生からの情報収集による状況報告だけでなく、サポート対策、指導効果のある事業・企画等について、より具体的に報告するなどの改善が必要である。

評価 S: 目標よりはるかに上回る、A: 目標をやや上回る、B: おおむね目標どおり、C: 目標をやや下回る、D: 目標をかなり下回る